

令和 8 年 9 月 4 日

北陸地方整備局

(同時発表 国土交通省 国土政策局)

小千谷市における「小千谷駅周辺再整備による拠点機能向上のための基盤整備検討調査」を支援します

～令和8年度 第2回官民連携基盤整備推進調査費の配分を実施～

国土交通省は、「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（官民連携基盤整備推進調査費）」の令和8年度 第2回配分として、北陸地方整備局管内から下記に示すとおり、調査案件の支援を決定しましたのでお知らせします。

（事業概要は別添を参照）

本事業は、民間の設備投資等と一体的に計画される地方公共団体のインフラ整備（道路・河川・公園・市街地整備・港湾・空港等）の事業化検討を支援するための制度です。

（配分先：地方公共団体、補助率：1/2以内）

北陸地方整備局管内 実施事業

調査名	実施主体	概要	実施計画額(千円)	
			事業費	国費
小千谷駅周辺再整備による拠点機能向上のための基盤整備検討調査	おちやし 小千谷市	小千谷駅は、JR 上越線の主要駅として、市民の日常利用や観光・ビジネスなど来訪者の移動を支える中心市街地の玄関口である。一方、駅前広場は整備から約 50 年が経過し、施設の老朽化、バリアフリー対応、駐車場不足に加え、人々が集い交流する空間の不足が課題となっている。鉄道事業者による駅機能強化と連携し、駅前広場と周辺駐車場を一体的に再整備することで、交通結節機能と滞留・交流機能を充実させ、賑わいの創出や中心市街地との回遊性向上につなげるため、駅周辺整備に係る調査及び設計を行う。	17,000	8,500

◆国土交通省（本省）プレスリリース資料は以下のURLをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku09_hh_000190.html

【同時発表記者クラブ】

新潟県政記者クラブ、
新潟県政記者クラブ、
富山県政記者クラブ、
石川県政記者クラブ、
その他専門誌

【問合せ先】

国土政策局 地方政策課 調整室 専門調査官 龍、主査 立川
代表：03-5253-8111(内線 29-914、29-916)、
直通：03-5253-8360

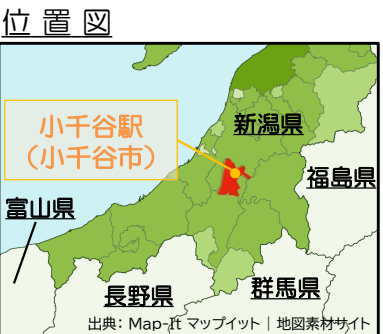
小千谷駅周辺再整備による拠点機能向上のための基盤整備検討調査

別添1

地域の特徴等

- 小千谷駅は、JR東日本上越線の主要駅として、本市中心市街地への玄関口であり、市民の日常利用や観光・ビジネスなど、来訪者の移動を支える重要な交通結節点となっている。
- 一方で、駅前広場の整備から約50年が経過し、施設の老朽化やバリアフリー化への対応、駐車場不足などの課題を抱えている。また、来訪者や地域住民が集い交流できる滞留・交流空間が不足しており、本市の玄関口としての魅力向上が求められている。
- このため、鉄道事業者による駅機能強化と連携しながら、駅前広場や周辺駐車場を含めた一体的な再整備を推進し、交通結節機能の向上に加え、滞留・交流機能の充実を図ることで、人々の交流や賑わいを創出し、中心市街地との回遊性向上を図り、本市の玄関口にふさわしい魅力ある拠点の形成が求められている。

【調査箇所： おぢやし
新潟県小千谷市】



(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・令和7年3月：小千谷都市計画マスタープランを改定（駅前広場や駐車場の整備方針を明記）
- ・令和7年3月：小千谷市バリアフリー基本構想を策定（駅前広場周辺施設のバリアフリー化を明記）
- ・令和8年3月：第六次小千谷市総合計画を策定（駅周辺のバリアフリー化と再整備を具体施策として明記）

(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・鉄道事業者による跨線橋拡幅、ホーム拡幅及びエレベーターの設置着手（令和8年度～）
- ・地域振興協議会による有料駐車場の運営（令和13年度～）
- ・観光協会によるレンタサイクル事業及びマルシェ等の実施（令和13年度～）
- ・交通事業者によるカーシェアリング事業の実施（令和13年度～）

密接な
関連性

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・施設の老朽化及びバリアフリー化に加え、社会状況の変化に伴い、駐車場が不足しているため、駅前広場における利便性を向上させ、交通結節点としての機能強化が必要
- ・駅前周辺の来訪者や住民が滞留・交流する機能が不足しているため、滞留・交流機能を兼ね備えた再整備が必要

(4) 【調査内容】

- ① 駅前広場周辺（駅前広場、駐車場等）再整備に係る基礎調査（地形測量、地質調査）・概略設計（基本設計図の作成、施設配置検討、パース作成、概算事業費算定等）

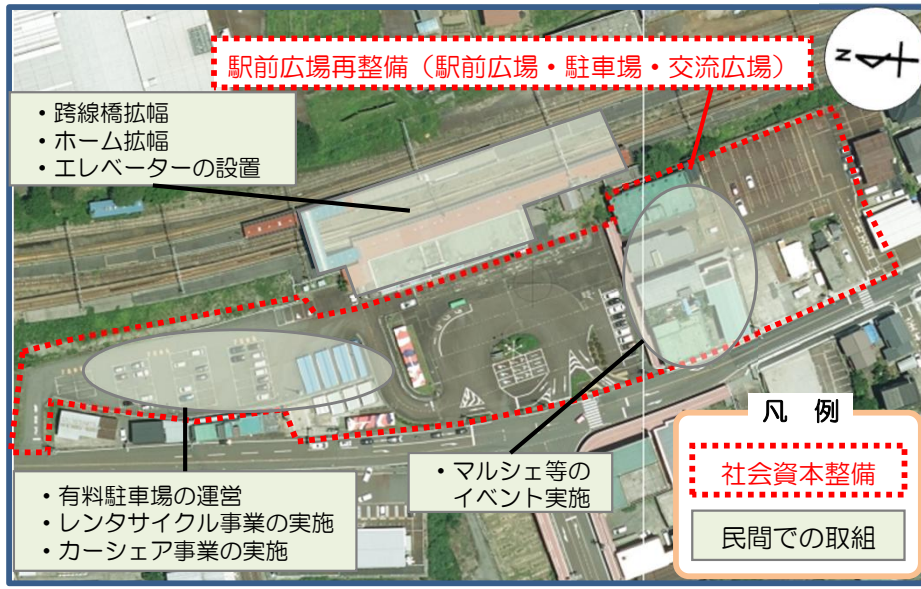
(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・交通結節機能の向上が図られるとともに、駅前広場の利便性が向上し、人々の交流や賑わいを創出
- ・中心市街地との回遊性向上により市街地拠点機能が強化

駅前広場の現況



駅北駐車場の現況



駅前広場再整備（駅前広場・駐車場・交流広場）

- ・跨線橋拡幅
- ・ホーム拡幅
- ・エレベーターの設置

- ・有料駐車場の運営
- ・レンタサイクル事業の実施
- ・カーシェア事業の実施

- ・マルシェ等のイベント実施

社会資本整備

民間での取組

凡 例

民間の事業活動と連携した自治体のインフラ整備の事業化検討を支援

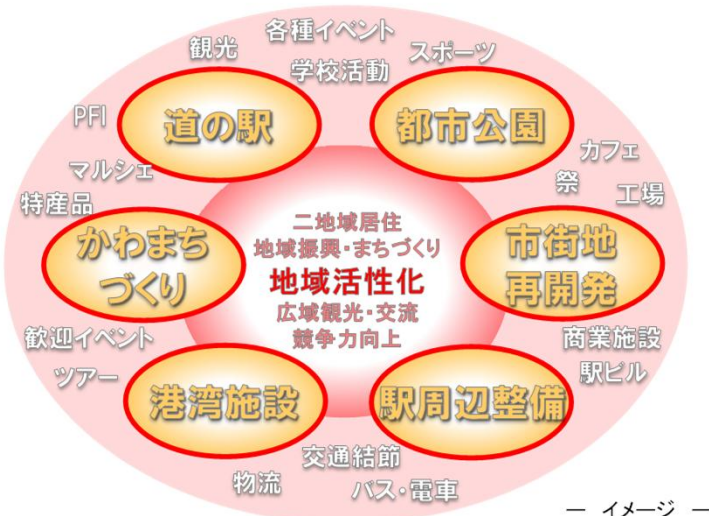
○民間の事業活動計画と一体となって推進する事業のうち、地方公共団体が整備するインフラの概略(基本)設計や基礎データ収集、整備効果検討などに必要な調査費を補助。

<目的>

- ・基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑かつ速やかな移行を支援。
- ・民間の意思決定のタイミングに合わせた機動的な支援により、民間の事業活動と一体となった基盤整備の早期効果発現に寄与。
- ・民間の活力を活かすことで、地域の個性や強みを活かした社会基盤整備を効果的に推進することが可能。

事業概要

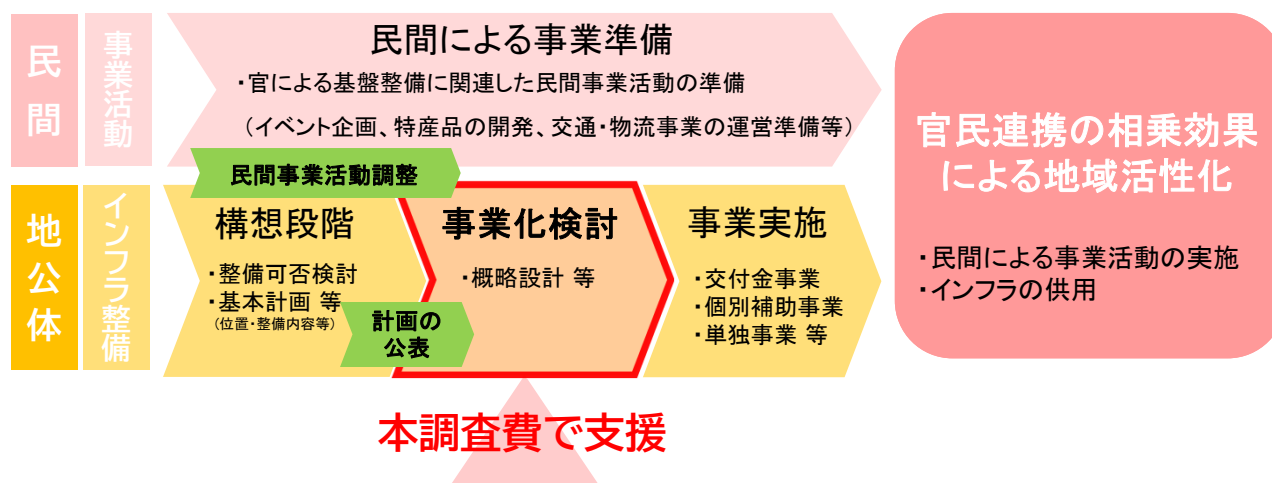
- 対象事業:
国土交通省所管の社会資本整備事業
(道路、港湾、河川、公園、市街地整備等)
- 補助対象:都道府県、特別区及び市町村
(一部事務組合及び広域連合を含む)
- 補助率:1/2以内
- 募集回数:年3回程度



— イメージ —

支援内容

○事業フロー



官民連携の相乗効果
による地域活性化

- ・民間による事業活動の実施
- ・インフラの供用

○支援内容:インフラ整備の事業化検討に必要な調査

- ① 概略設計: 基本的仕様の検討、概略設計図、パース作成、概算事業費算出 等
 - ② 基礎データ収集: 概略設計に必要な地形、地質、交通量等の調査 等
 - ③ 整備効果検討: インフラ整備による効果、便益、経済効果の検討 等
- ※ PPP/PFI導入可能性検討(PPP/PFI手法の選定、官民の役割分担、VFMの算定 等)
についても関連する調査として上記調査に併せて実施可能